

令和4年12月13日の動議採決の際に、議長が起立者数を読み違えたことの  
訂正を求める決議

令和4年12月市議会定例会に係る議会運営等調査委員会では、令和4年12月議会12月13日の議会での動議において、画像では起立者数は11人であることが確認されました。これが客観的事実です。

13日の議会出席者数は21人であり、11人で過半数となります。しかし、小西励議長は「否決」と宣告されました。その日の会派代表者会で、小西議長は、「私の目視がすべてである。目視で10人と確認した。」と発言されました。

日本共産党は、12月議会においても、3月議会においても、再三再四、小西議長に起立者の数が間違っていたことについて訂正を求めてきました。

しかし、これまで「起立は11人であった」ことについて訂正されていません。

議員にとって最も重要な基本的権限である表決権の行使に対し、議長は公正公平の立場に立って厳正に集計し宣告すべきです。起立者の数を読み間違えた事実を真摯に受け止め、議会に対する信頼を回復するためにも、議会と市民に対し訂正すべきと考えます。

よって、今期最後となる3月議会最終日の本日、本会議において、12月議会の動議の際の起立者の数について、議長が訂正されることを求めます。以上決議します。

令和5年3月24日  
近江八幡市議会